

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 2号)

2020年10月29日発行  
 兵庫のみ研究所

別府～江井ヶ島の沿岸域を中心に大型珪藻コシノディスカスが確認されており、発生量は依然として多い状況ですがその沖筋や周辺海域においては前回(10/17.21)調査と比較し減少しています。窒素は、林崎新漁場西部以西の沖筋で $1\mu\text{g at/L}$ 以下、それ以外の海域で概ね $1\sim 2\mu\text{g at/L}$ 台と低い状況ですが、明石海峡部周辺海域では $2\mu\text{g at/L}$ 台後半の値を示しました。

(水温) 漁場内平均 $21.3^{\circ}\text{C}$ 。平年より $0.9^{\circ}\text{C}$ 、昨年より $1.1^{\circ}\text{C}$ ともに低い。

(塩分) 平均 $31.65\text{psu}$ 。前回(31.80)より約 $0.15\text{psu}$ 低い。

(栄養塩、珪藻) 別府～江井ヶ島の岸寄りの地点ではコシノディスカスが海水1Lあたり $1700\sim 3800$ 細胞とかなり多く、二見～魚住の地先周辺で赤潮として確認された。それ以外は、別府沖筋～新漁場沖筋・明石海峡部にかけて海水1Lあたり $500\sim 800$ 細胞と多いものの、前回(1000～1500細胞)と比較すると減少しており、西部の伊保・白浜漁場では僅かに見られる程度であった。窒素は、全域において依然として低い状況であるが、明石海峡周辺では $2\mu\text{g at/L}$ 台後半であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	22.9	21.3	22.2	22.4
窒素	1.0	1.1	5.9	6.6
リン	0.31	0.38	0.63	0.59

(10/17)

(10/28)

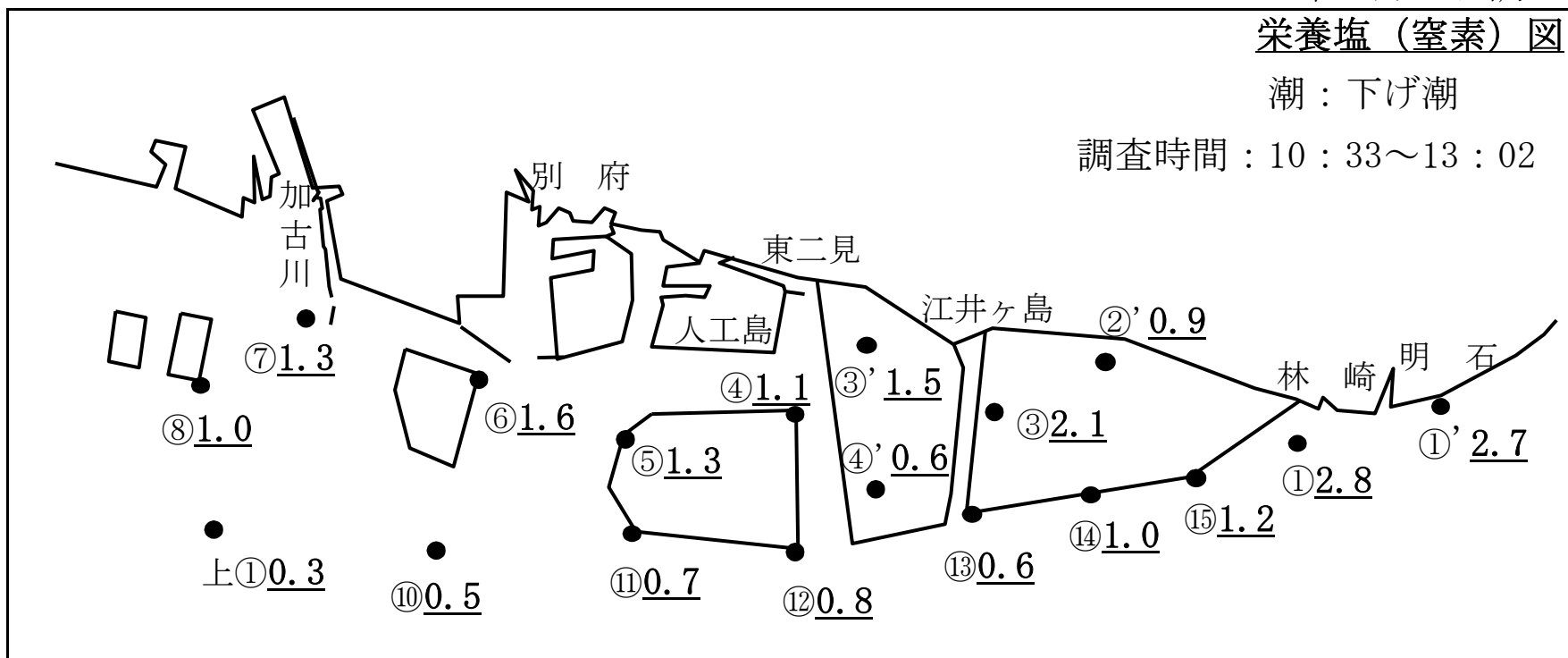
西播地先					
伊保地	水温	$21.2^{\circ}\text{C}$	伊保沖	水温	$21.4^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.3		窒素	0.5
	リン	0.55		リン	0.39
白浜地	水温	$21.4^{\circ}\text{C}$	白浜沖	水温	$21.7^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.7		窒素	0.9
	リン	0.58		リン	0.47

2020年10月29日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：10:33～13:02



## 水温図

